



◆「ばけばけ」のモデル

11月8日から「小泉セツ資料展」が始まります。朝の連続テレビ小説「ばけばけ」のモデルとなった小泉セツと八雲（ラフカディオ・ハーン）。当館で所蔵している、セツの手紙や遺愛の品など多数展示します。特に注目してほしいのは、セツが避暑で焼津にいるハーンに宛てて書いた手紙です。二人はカタカナと簡単な日本語を使ってやり取りしていました。ヘルン言葉と呼ばれる独特な方法で、「シンセツノパパサマ」で始まり、ちゃんと食べているかと案じながら、大久保の家で起きた些細な事件をつづっています。大きな蛇がネズミを食べに入ってきた家の女たちが大騒ぎだったという出来事ですが、臨場感たつぷりに書かれ、二人の間の優しいやり取り

◆心と体をリフレッシュ

今年度からイケビの文化講座に新しく『池美ヨガ教室』が加わりました。講師は『エアロヨガ講座』でお馴染みの高橋みゆき先生です。いつもエアロヨガ講座では、笑顔で元気いっぱい先生。参加者の皆さんも講座終了後は笑顔になり、心も体もリフレッシュされている様子です。以前よりたつぷりと時間をかけてヨガだけ、エアロビクスだけの講座を開催できないかと思い、高橋先生にお願いしたところ、快諾いただき、念願のヨガ教室

◆公式LINEはじめました！

このたび、池田記念美術館の公式LINEを開設しました。企画展やイベント情報のご案内をはじめ、入館料やイケビカフェの割引クーポンなども配信予定です。ぜひ、お友だち追加をお願いいたします。

第3クールは12月からの3ヶ月間、第4水曜日の午後2時、1時間30分の教室です。皆さまからのご予約をお持ちしております。（山口加奈子）

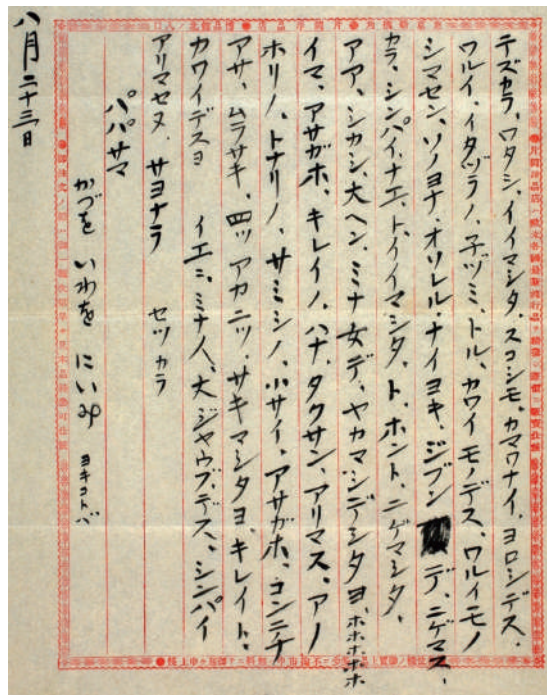
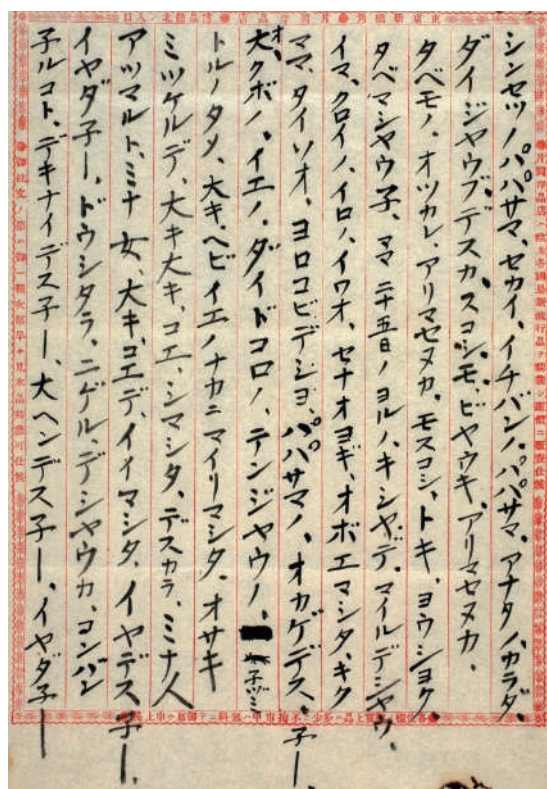
また、より多くの皆さまに情報をお届けできるよう複数のプラットフォームを活用し、情報発信に力を入れています。池田記念美術館の活動をじっくりとご覧いただける「note」に記事を投稿したり、気軽に情報が目

◆秋から冬の出来事

大和中学校の新校舎建設計画にともない、B&G体育館を会場に実施されてきた、大和文化祭と南魚美術協会会員展を、当館で開催することになりました。どちらも会期中は全館入館無料となるので、多数の来場をお待ちしております。地元地域で文化活動に励んでいる方々の発表の場となり、美術館としても展示方法の助言など全面支援いたします。

また、当館所蔵品をコレクションした池田恒雄（ベースボール・マガジン社創業者）が旧制小千谷中学校の卒業生で、野球を通して小千谷との深い縁があったことから、小千谷市展に新しく「池田記念美術館賞」が創設される運びとなりました。この秋、日本画、書道、水墨画、写真、洋画・版画、工芸・彫塑の6部門の受賞作品と各部門の市長賞の作品、合計12点を当館で特別展示します。次年度以降も継続となります。

広く魚沼地域と連携し、「地」と「人」に開かれた、自由で闊達な美術館を創造していきたいと思います。（高橋良一）



焼津滞在中の八雲に宛てたセツの手紙

公式LINE 友だち追加で、割引クーポン配布中！
有効期間 12月6日まで



《池田記念美術館一展覧会・イベント情報》

■小泉セツ資料展 ハーンが愛した“世界で一番良きママさん”

◎会期：11月8日(土)～12月6日(土)

NHK 連続テレビ小説「ばけばけ」が放映中です。舞台は松江。没落士族の家に養女に入ったヒロイン・松野トキ役を演じるのは女優の高石あかりさん。このトキのモデルが小泉セツです。のちに英語教師として松江に赴任するラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と出会って夫婦となります。怪談大好きなトキがどうなっていくのか、毎朝のドラマ展開が気になります。ハーン関係の資料は、国宝の松江城にほど近い武家屋敷にある「小泉八雲記念館」「小泉八雲旧居」のほか、全国各地の施設に所蔵されています。松江から転居した熊本の「小泉八雲熊本旧居」、夏を過ごした焼津の「焼津小泉八雲記念館」、終焉の地となった東京の「区立新宿博物館」、富山には、関東大震災後にハーンの蔵書を引き取った「富山大学附属図書館ヘルン文庫」があります。ハーン関連書籍を多数出版した恒文社を立ち上げ、当館の創設者でもあった池田恒雄が開館にあたって集めた資料を紹介しているのが当館の「小泉八雲文学資料室」です。今回の企画展にあたって、八雲の創作活動を陰になり日向になって応援し、4人の子どもを育て上げた小泉セツ関連の貴重な資料を多数公開します。



七五三の祝い（左からハーン、長男の一雄、セツ）

■記念講演会 現代によみがえる八雲とセツ、そして新潟

～「ばけばけ」をもっと楽しむために

11月8日(土) 14:00～ ※参加には入館料が必要です

講師：小泉 凡（小泉八雲記念館館長、八雲の曾孫）

■第4回 大和文化祭

◎会期：11月15日(土)～11月16日(日)

昨年まで大和B & G 海洋センター・体育館で実施していた大和文化祭は今年度、会場を当館に移して開催します。絵画、書道、写真、絵手紙、パッチワーク、ロマンドール、生花など、大和地域に住む愛好家の作品を展示。

15日と16日も全館入館無料となりますので、同時開催の「小泉セツ資料展」や常設展示もあわせて観覧可能です。

■第45回 小千谷市展（市長賞・池田記念美術館賞）受賞作品特別展示

◎会期：11月22日(土)～12月6日(土)

今年で45回目を迎えた小千谷市展は、日本画、書道、水墨画、写真、洋画・版画、工芸・彫塑の6部門で構成され、今年度から新たに「池田記念美術館賞」が創設されました。当館を創設した池田恒雄が生涯にわたって愛し、支援してきた小千谷の地で文化活動がますます興隆することを願って、市長賞と池田記念美術館賞の受賞作品12点を展示します。

■第46回 南魚美術協会会員展

◎会期：12月12日(金)～12月14日(日)

11月の「大和文化祭」と同様に、大和B & G 海洋センター・体育館で実施していた南魚美術協会会員展の会場を当館に移して開催します。絵画、彫刻、書道、写真部門の作品を展示。12日から14日までの3日間は全館入館無料となります。

■11月～12月の休館日

毎週水曜日のほか、展示替え・LED化工事・年末年始のため、12月7日～11日、15日～1月4日は休館となります。

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5493-3 八色の森公園内

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9:00～17:00（入館受付は16:30まで）

【休館日】毎週水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、展示替えによる臨時休館

【入館料】一般 500円 高校生以下無料（団体割引、各種割引あります）

【ホームページ】<http://www.ikedarta.jp>

公園の中の美術館

池田記念美術館



アクセス

上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分

関越自動車道大和スマートICより車3分

六日町ICより車15分、魚沼ICより車10分